

(1) 南相馬市

- (株)紅梅夢ファームとの連携農地が拡大
H29年→9ha、H30年→24ha、**H31年→30haへ!**
- **フラグシップ**となり、さらに他地元農家も追随
H29年～(株)荻の杜、H32年～小高ファーム
- H29年度から、「**南相馬産パックスライス**」を
アイリスフーズにて生産、東北生協にて販売
- 「乾田直播」「ドローン散布」など最新鋭の
生産性を高める取組みも、共同で実施

〈南相馬市小高区農業者との連携図〉



(2) 浪江町

- H29年3月に舞台ファームにて包括連携協定を締結
→13復興地区の営農再開ビジョン立案に関与(農家座談会等)
- H30年度より、藤橋地区にてテスト栽培開始(地元農業者連携)
→ R1/H31年度: **農地を借入れ(4.8ha)→今後耕作を拡大予定**
→ **アイリスグループの販路で販売することで、営農再開支援**
→ 地元農業者と連携しながら、ドローンなどのスマート農業も推進

〈営農再開ビジョン座談会〉



〈R1/H31年度 舞台F作付圃場図〉



(3) 他沿岸部市町村

- 他の福島県沿岸部市町村においても、今後農業の支援を実施していく
→ 南相馬市・浪江町モデルを踏襲し、地元農業者と連携して復興を加速
→ 生産されたコメについては、アイリスグループの全量買取にて販路を支援
→ 状況により包括連携協定を締結し、農業を通じ全面支援を実施

〈福島県沿岸部連携作付想定〉

		2017年度	2018年度	2019年度		2020年度	2021年度		
		(H29年度)	(H30年度)	(H31年・R1年度)	(R2年度)	(R3年度)	(R3年度)		
				浪江拡大			浪江CE稼働		
合計	面積	11.0 ha	29.0 ha	47.2 ha	162.8%	100.0 ha	211.9%	185.0 ha	185.0%
	数量	66.0 t	127.3 t	200.0 t	157.1%	600.0 t	300.0%	925.0 t	154.2%
南相馬	面積	11.0 ha	27.0 ha	40.0 ha	148.1%	60.0 ha	150.0%	80.0 ha	133.3%
	数量	66.0 t	123.0 t	180.0 t	146.3%	360.0 t	200.0%	400.0 t	111.1%
浪江	面積	0.0 ha	2.0 ha	7.2 ha	360.0%	40.0 ha	555.6%	100.0 ha	250.0%
	数量	0.0 t	4.3 t	20.0 t	465.1%	240.0 t	1200.0%	500.0 t	208.3%
他	面積	0.0 ha	0.0 ha	0.0 ha	-	0.0 ha	-	5.0 ha	-
	数量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	-	0.0 t	-	25.0 t	-

福島県沿岸部における農業復興の課題とは？

① インフラ① = 圃場整備・水系などの復旧

- 圃場が整備されていない、鳥獣被害で圃場が壊れている、水系が復旧していない等。
- 地元農業者、および行政と課題点を共有し、復旧を可及的速やかに実施していく。

② インフラ② = 乾燥調製設備、集荷検査倉庫、農機具不足

- 農耕用機械が壊れている、または全く無い状況。
- 最も大きなネックは、乾燥調製設備、および集荷検査倉庫。(全袋放射線検査必須)
- 販路を提供することで生産を促し、行政の助成金を最大限活用しつつ復興させていく。

③ 人材面 = 住民が戻ってこない、担い手不足

- 全量買取契約による安心感の提供。=地域の核になる農業者との連携。
- 買取だけではなく、生産段階からの手厚い支援(苗作り、防除支援、技術指導など)。

④ 販路面 = 販路が無い、作っても売れないという諦念

- 最大で「1万トン」まで購入可能な圧倒的販路を提供。全量買取契約による安心感。
- 放射線のダブル検査体制 = 安心安全で美味しい主食用米(パックライス)の販売。